

呼吸器内科

I 経験、習得すべき事項

- ・呼吸器疾患患者の予診、身体所見の把握から簡単な検査に基づき診断・治療へのアプローチを実践し検査計画・治療計画を立案できる能力を獲得すること。
- ・気管支鏡検査、胸腔処置などの手技をマスターすること。
- ・CT・MRI など胸部疾患の画像所見の読影が可能となること。

II 経験が求められる疾患

呼吸器感染症（肺結核を含む）		COPD、気管支喘息 など閉塞性肺疾患	呼吸不全
肺循環障害	胸膜・縦隔疾患	びまん性陰影を呈する 非感染性の肺疾患	肺癌

III 当診療科における研修の特徴

- ・病棟回診 週 1 回、臨床カンファレンス 週 1 回に参加し、自分の受け持ち以外の症例についても学習すること。
- ・気管支鏡検査 週 2 回その他、胸腔処置、血管造影検査は適宜施行し、それらの手技に習熟すること。
- ・希望があれば、呼吸器外科の手術にも見学可能であること。